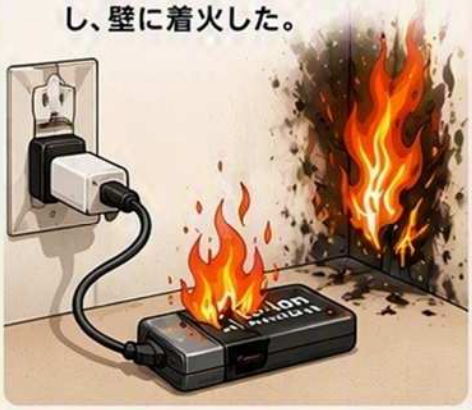
リチウムイオン電池による火災に注意！



リチウムイオン電池は、便利な一方で、誤った使用や保管により
火災が発生する危険があります。正しく使い、火災を防ぎましょう。

火災事例

1 充電器に適していない社外品のリチウムイオン電池を充電したことにより、電池内部から出火し、壁に着火した。



2 高温下の車内に放置された携帯型音楽プレイヤーのリチウムイオン電池が、熱により膨張し出火した。



3 回収した金属ごみ類にモバイルバッテリーが混入しており、ごみ収集車の荷箱内で圧力が加わり出火し、周囲の金属ごみ類に延焼した。



火災を防ぐためのポイント

製品に適した充電器を使用する
製品に付属している充電器や、メーカーが指定した充電器を使用しましょう。

高温になる場所に放置しない
車内や直射日光の当たる場所、ストーブの近くなどに置かないようにしましょう。

強い衝撃や圧力を与えない
落とす、ぶつける、踏みつけるなどの衝撃や、重いものの下に置くなどの圧力を避けましょう。

異常（膨張・変形・発熱など）を感じたら、使用を中止する
異常がある場合は、使用を中止し、製品のメーカーや販売店に相談しましょう。

不要になったリチウムイオン電池やモバイルバッテリーは、適切に処分する
詳しい処分方法は裏面をご覧ください。

発火したときの対処法

1 直ちに **119番通報**



2 大量の**水**で冷やす
または
バケツの中に入れる



3 周囲の人を避難させ、安全を確保する



火災予防に関する問合せ

豊田市消防本部　予防課

TEL：0565-35-9703
FAX：0565-35-9719
MAIL：shoubou-yobou@city.toyota.aichi.jp

リチウムイオン電池、
リチウムイオン電池使用製品及び
電池を捨てるときのお願い



リチウムイオン電池や電池使用製品による火災を防ぐため、
分別の際は以下の４点をお願いします。

1

発火を防ぐため電池は
すべて電極部分を
テープ等で絶縁処理
してください。



コイン電池
ボタン電池



リチウムイオン電池



乾電池



モバイルバッテリー

2

膨張・変形したものは
発煙・発火の危険性が
高いため、リサイクル
ステーションの職員に
直接手渡してください。



3

取り外しが簡単にできない
（電池交換式ではない）電池を
無理に取り外そうとすると
発煙・発火の危険性があるため、
分解せずそのまま出してください。





4 リチウムイオン電池製品の見分け方

リサイクルマークの下に「Li-ion」と
表示されているものが目印です。

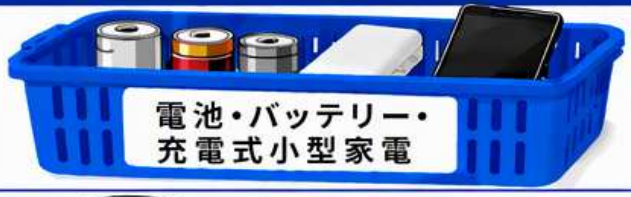


ただし、古い電池などには
マークがついていない
ものもあります。

できるだけ電池切れの状態で出してください。
膨張・変形したものは危険ですので電池切れにする必要はありません。

リチウムイオン電池使用製品は「有害ごみ」で収集しています！

● 資源の日（月１回収集）又は
リサイクルステーションの、
「電池・バッテリー・充電式小型家電」
のかごに出してください。



一辺が30cmを
超えるものは
「金属ごみ」です。









※左記は一例です。
30cmを超える
ものが対象と
なります。

廃棄に関するお問い合わせ
豊田市環境部　循環型社会推進課
TEL：0565-71-3001　FAX：0565-71-3000
MAIL：junkan@city.toyota.aichi.jp